



毎日新聞湖北ブロック会 協賛

湖北ブロック会事務局（毎日新聞彦根城東販売所）

滋賀県彦根市地蔵町 120-105 TEL.0749-26-9673

制作 / オフィスいしやま（毎日新聞大津販売）

湖 北

長浜市内の遊休農地で栽培した農産物を障害者らが加工・販売している合同会社 T U N A G U (同市常喜町) は、同社の農福連携ブランド「C H I T O T E T O 」(ちとてと) から新商品を発売した。その名も「花びら芋チップ」と「朝日にきらめく蓮のラスク」。芋チップは、規格外品となつたサツマイモを有効利用。農機具の老朽化や知識・技術不足のために、収穫時などに

蓮のラスクは、フルーツサンドを作った時にできるパンの耳を使って、明るい焼き色に仕上げた。同社が運営する「あいのたに冥土カフェ」名物の「蓮の生ジヤム」をまとつてある。

発売された花びら芋チップス



長浜芋チツブと蓮ラスク
農福連携ブランド新商品

だじやれをライフワークレ
する彦根市中藪町の中島健告
さん(82)が10月31日、中老
人福祉センター(同市開出会
中老アースタ出展

意外なそつくり言葉として「尿道結石」「女房欠席」▽「兄さんが満貫」「酸化アソガン」▽「正会員」「背かゆいん」などを並べた。

一方、シリアスな新境地を見せた。「ラブレター」藪に捨てられ（恋に）敗れたの」「激戦地何を言おうと硫黄島「かけ算を思い起こせよ飲酒（1×4）が死（4）」。

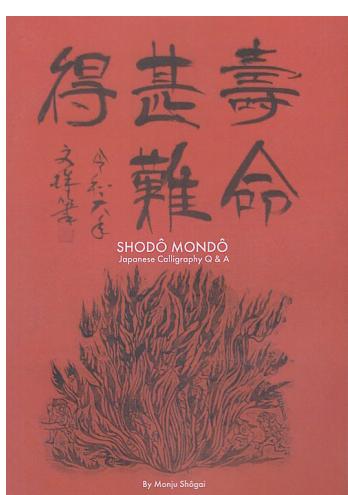
東

彦根だじやれ新作披露
中島さんのライフワーク

ど、今回もナンセンス全開。意外なそつくり言葉として

英語の書道入門書出版 本光寺の文珠松崖住職

彦根



彦根市八坂町の浄土真宗本願寺派紫雲山本光寺住職 文珠松崖（もんじゅしようがいさん）（76）が英語の書道入門書「SHODÔ MONDÔ 写真（A5判、80頁）」をサンライズ出版から発行した。税別で2500円。

少年トム・ホワイトの質問に答える形で、筆、墨、すずり、紙などをカラー写真付き

で解説している。さらに「なぜ筆を垂直に持つとよいのでしょうか?」と尋ねられると「漢字やかなを考えた場合、全方向に書かれているのが分かります」「もし紙に対しても垂直に持てば、書道に含まれるすべての線を難なく書くことができます」と答えている。文珠さんは福井県生まれで京都府立大卒。滋賀県立高校

遊びや体験で健康に 市がバイオ大でフェス

遊びや体験の要素を取り入れて、健康について楽しく学んでもらう「2025ながはま健康フェスティバル」が11月2日、長浜市田村町の長浜バイオ大で開かれた。長浜吉とNPO法人「健康づくり次クラブ」の主催。新型コロナ禍で中止が続き、2010年以来、6年ぶりの開催となった。健康チェックや相談、職業体験など約30の出展があり、多くの人にぎりわつた。

救命救急体験では、心肺停止になつた人に遭遇した場合を想定し、心肺蘇生法やAEDの使い方など

A photograph showing a young child in a white apron and red long-sleeved shirt performing CPR on a large, light-colored mannequin head. An adult in a red shirt and blue mask is kneeling behind the child, observing the procedure. The setting appears to be a classroom or workshop environment.

